

MACKIE®



日本語オーナーズマニュアル追補
VERSION 1.2 UPDATE

目 次

TT24 バージョン1.2の機能	3
1. V-Pot スピードコントロール	3
2. SELECT FOLLOWS SOLO	4
3. INPUT DSPルーティング	5
4. MIDIコントロール	6
5. ファームウェアのバージョンを示すHELP	8
6. カスタムユーザーバンク	9
7. TALKBACK LATCH	10
8. 内蔵テストトーンとオシレーター	11
9. ミュートグループ	12
10. スナップショットコントロールの早送り	12
11. 3基の31バンドグラフィックイコライザーを内蔵	13
12. EFXプリセットダイアル	14
13. QuickMixセクションでのスナップショットのフィルタリングと編集	15
14. スナップショットに記憶されるTT24のパラメータ	16
15. TTコントロールによるファイルのバックアップ/リストア機能	18
16. TT24コントロールサーフェスのショートカット	22

その他の情報、Mackie 製品については以下のサイトもご覧ください。

www.mackie.com/jp



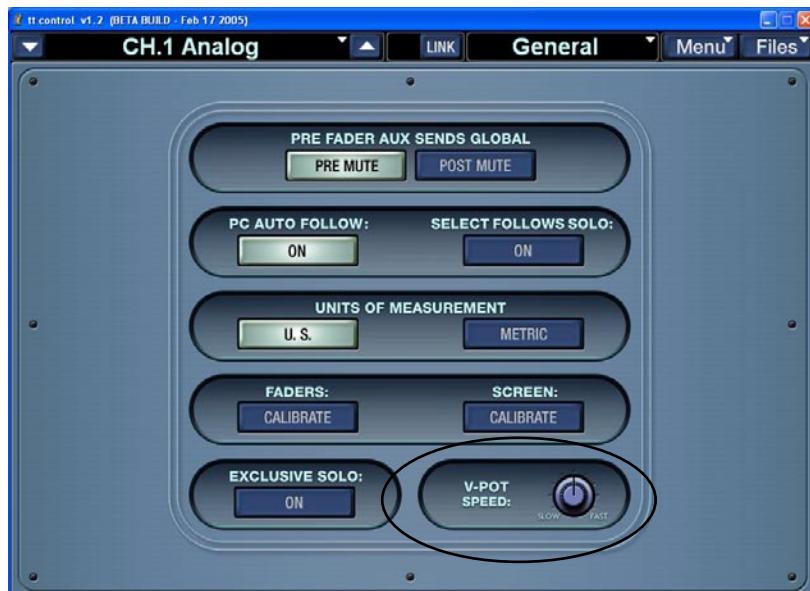
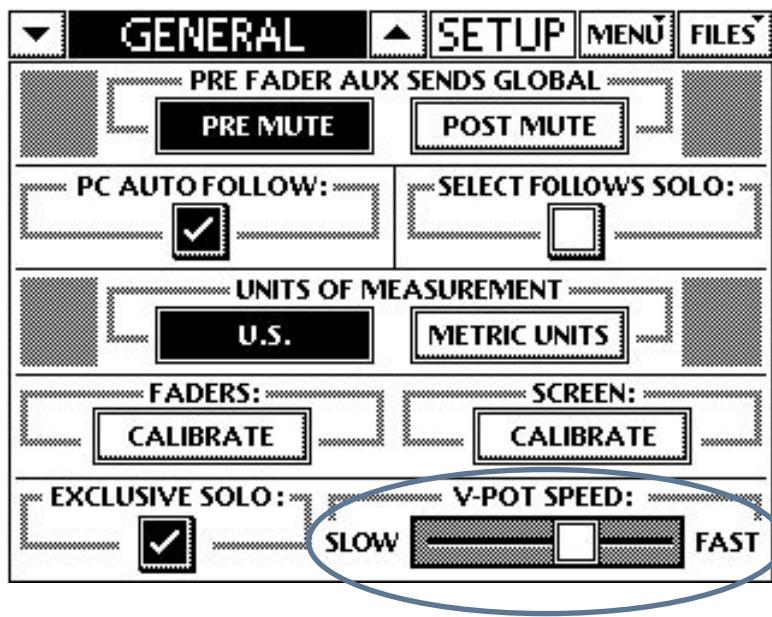
TT24 バージョン1.2の機能

TT24 オーナーズマニュアルを追補するこのマニュアルは、主にバージョン 1.2 アップデートに盛り込まれた新たな機能について説明しています。

1. V-Pot スピードコントロール

オーナーズマニュアルのセクション : 6.12.2 **GENERAL** (変更)

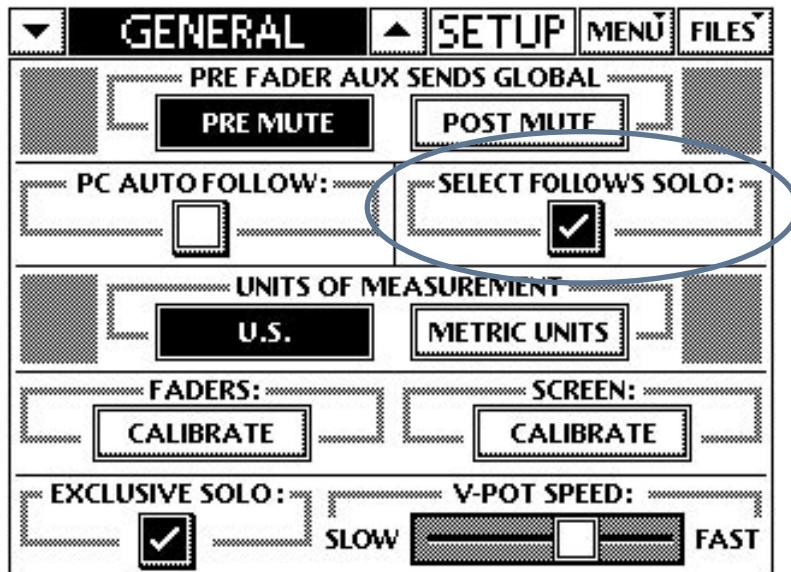
機能の詳細 :すべての機能（パンを除く）における V-Pot と QuickMix ノブのスピードと反応を、SETUP/GENERAL スクリーンの V-POT SPEED 設定（8 段階）でコントロールすることができます。V-Pot の感度をお好みのものに調節することができます。FAST を設定すれば、エンコーダーの 1 回転でパラメータの全範囲をカバーすることができます。SLOW は緻密な調整に適したものあり、SLOW 側に設定した場合、パラメータの全範囲をカバーするにはエンコーダーを 1 回転以上回す必要があります。



2. SELECT FOLLOWS SOLO

オーナーズマニュアルのセクション : 6.12.2 **GENERAL** (追加)

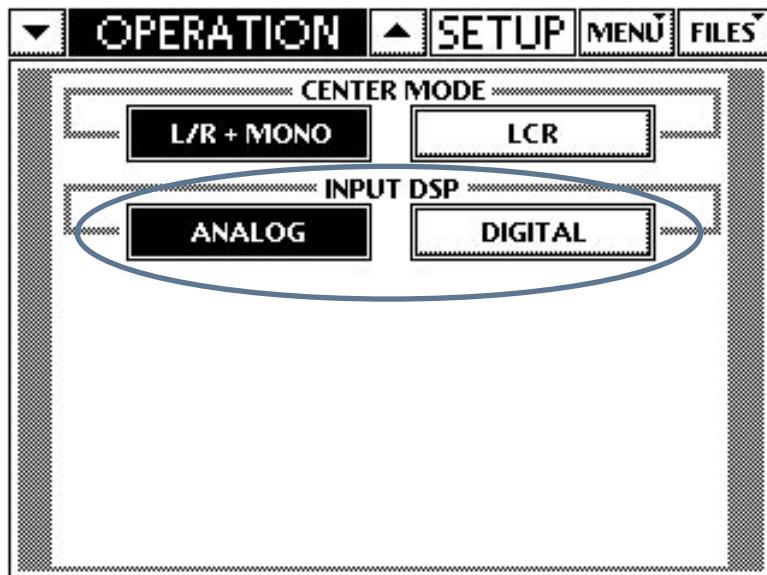
機能の詳細 : SELECT FOLLOWS SOLO をアクティブにすると、SOLO ボタンを押してソロを設定すると同時にチャンネルを選択することができます。準備段階でのセットアップなどに便利な機能です。モニターまたはヘッドフォンバスへソロ信号を送り、そのまま素早くチャンネルを編集することができます。この機能は、SETUP/GENERAL スクリーンの LCD ボタン（または PC ボタン）で選択してください。



3. INPUT DSPルーティング

オーナーズマニュアルのセクション : 6.12.1 **OPERATION** (変更)

機能の詳細 : INPUT DSP の設定により、通常はアナログバンクにアサインされる DSP の 24 チャンネルを、アナログバンクではなく、デジタルバンクにルーティングすることが可能です。アナログインプット × 24 のトリム、フェーズ、HPF、EQ、コンプレッサーはデジタルバンク 25-48 へ移動されます。設定は TT コントロールまたは LCD の SETUP/OPERATION スクリーンで行います。ANALOG あるいは DIGITAL のボタンを選択してください。TT24 に UFX-II カードを装着し、デジタルバンク 25-48 の DSP に使用している場合は、ANALOG ボタンと DIGITAL ボタンが強調表示となり、DSP が両方のバンクに存在することを示します。



4. MIDIコントロール

オーナーズマニュアルのセクション : 6.12.4 **MIDI コントロール** (追加)

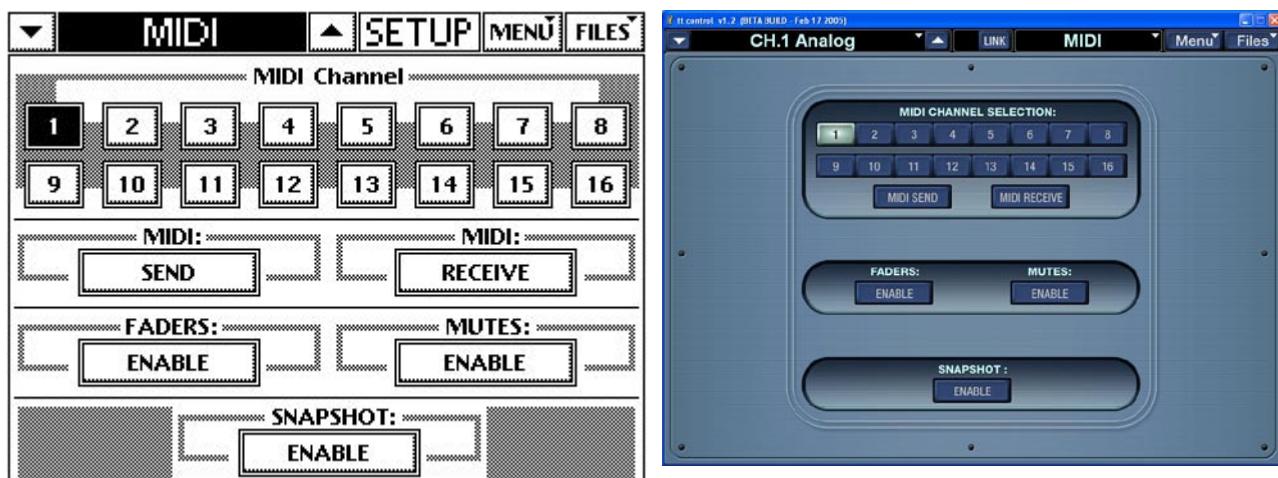
機能の詳細: フームウェアバージョン 1.2 は、TT24 に基本的な MIDI 機能を追加します。フェーダーの値、チャンネルのミュート、スナップショットを外部シーケンサー或は MIDI デバイスから遠隔操作することが可能になりました (MIDI IN コネクタを経由)。また、以上のパラメータがコンソールで操作された時に、TT24 の MIDI OUT コネクタから MIDI メッセージが送信されるように設定することも可能です。

MIDIインプット、アウトプットを有効にする

初期設定では、MIDI メッセージの送受信は非アクティブとされています。MIDI 機能を活用するためには、まず MIDI ページの SETUP メニューで MIDI インプット、そして (または) MIDI アウトプットを有効にする手続きが必要です。対応 MIDI 信号の受信に応答させるためには、RECEIVE ボタンをタッチまたはクリックして強調表示させてください。同様に、対応パラメータの変化に応じて MIDI メッセージを送信させるためには、SEND ボタンをタッチまたはクリックして強調表示させてください。

MIDIチャンネルの設定

MIDI メッセージの送受信は、16 の MIDI チャンネルのどれか 1 つを使用して行われます。TT24 が外部デバイスとコミュニケーションを確立するには、双方に同じ MIDI チャンネルが指定されていなければなりません。TT24 で MIDI チャンネルを指定するには、MIDI ページの SETUP メニューで目的の MIDI チャンネルをタッチまたはクリックして強調表示させてください。対応 MIDI メッセージの送受信は、選択されたチャネルを使用して行われます。



ノート：MIDI メッセージのバイトは 16 進数で表現されます。次ページの「十進数と 16 進数の対応表」をご参照ください。

スナップショット：

MIDI ページの SETUP メニューで RECEIVE が選択されると、TT24 のメモリに記憶されたスナップショットを MIDI プログラムチェンジのメッセージによって呼び出すことができます。同様に、SEND が選択されると、コンソールでスナップショットを呼び出すとともに、TT24 の MIDI OUT コネクタから MIDI プログラムチェンジのメッセージが送信されます。

MIDI スナップショットメッセージのバイト : **Cn ss** (0x は 16 進数であることを示す)

場所 : n = MIDI チャンネル (0x0 から 0xF)

ss = スナップショットのナンバー (0x00 から 0x62)

例: TT24 へメッセージ “C0 44” を送信した場合、MIDI チャンネル 1 を選択された TT24 はスナップショット 68 を呼び出します。

ミュート：

MIDI ページの SETUP メニューで RECEIVE が選択されると、チャンネルのミュート設定を MIDI ノートメッセージによって指定することができます。同様に、SEND が選択されると、コンソールでミュート設定を切り替えるとともに、TT24 の MIDI OUT コネクタから MIDI ノートメッセージが送信されます。

MIDI チャンネルミュートメッセージのバイト : **9n ii mm** (0x は 16 進数であることを示す)

場所 : n = MIDI チャンネル (0x0 から 0xF)

ii = チャンネルストリップの ID

デッキ 1 : (0x00 から 0x17)

デッキ 2 : (0x18 から 0x2F)

デッキ 3 : (0x30 から 0x47)

デッキ 4 : (0x48 から 0x5F)

mm = ミュート設定 (非ミュート = 0x00、ミュート = 0x7F)

例: TT24 へメッセージ “90 18 7F” を送信した場合、MIDI チャンネル 1 を選択された TT24 はデッキ 2 のチャンネルストリップ 1 をミュートします。

フェーダー：

MIDI ページの SETUP メニューで RECEIVE が選択されると、チャンネルフェーダーの値を MIDI コンティニュアスコントローラーメッセージによって指定することができます。同様に、SEND が選択されると、コンソールでフェーダーを操作するとともに、TT24 の MIDI OUT コネクタから MIDI コンティニュアスコントローラーメッセージが送信されます。

MIDI チャンネルフェーダーメッセージのバイト : **Bn ii vv** (0x は 16 進数であることを示す)

場所 : n = MIDI チャンネル (0x0 から 0xF)

ii = チャンネルストリップの ID

デッキ 1 : (0x00 から 0x17)

デッキ 2 : (0x18 から 0x2F)

デッキ 3 : (0x30 から 0x47)

デッキ 4 : (0x48 から 0x5F)

vv = フェーダーの値 (0x00 から 0x7F)

例: TT24 へメッセージ “B0 18 61” を送信した場合、MIDI チャンネル 1 を選択された TT24 はデッキ 2 のチャンネルストリップ 1 のフェーダーを「0.0 dB」に設定します。

十進数と16進数の対応表

十進数	16進数 (0x)	十進数	16進数 (0x)	十進数	16進数 (0x)
00	0	16	10	32	20
01	1	17	11	33	21
02	2	18	12	34	22
03	3	19	13	35	23
04	4	20	14	36	24
05	5	21	15	37	25
06	6	22	16	38	26
07	7	23	17	39	27
08	8	24	18	40	28
09	9	25	19	41	29
10	A	26	1A	42	2A
11	B	27	1B	43	2B
12	C	28	1C	44	2C
13	D	29	1D	45	2D
14	E	30	1E	46	2E
15	F	31	1F	47	2F

以下同様 ...

5. ファームウェアのバージョンを示すHELP

オーナーズマニュアルのセクション : 3.4.9 エンジニア用ユーティリティーセクション (変更)

機能の詳細 : HELP ボタンにより、TT24 ミキシングコンソールの現在のファームウェアバージョンが表示されるようになりました。

例 (下図を参照) : v1.02 Build 52



6. カスタムユーザー銀行

オーナーズマニュアルのセクション : 3.2.5 **USER BANK** (追加)、6.13.5 **USER BANK** (追加)

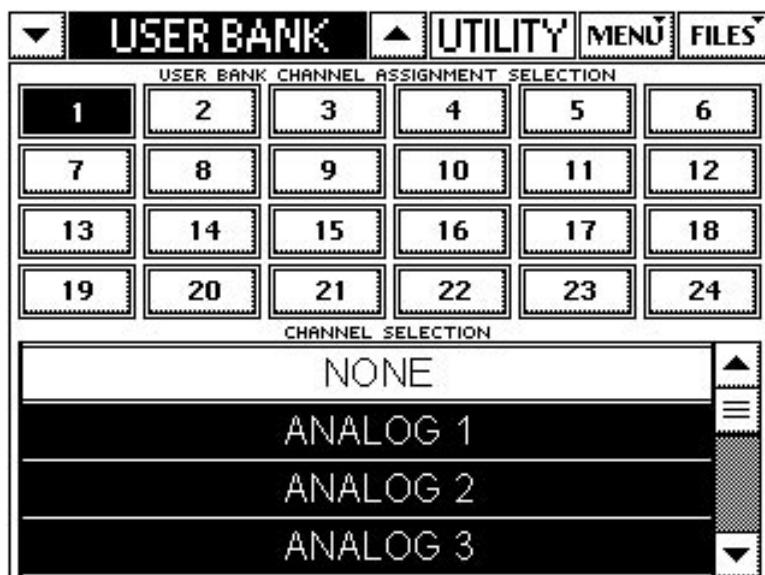
機能の詳細 : カスタマイズできるユーザー銀行が追加されました。既存銀行 (ANLG、DGTL、RTNS、MSTR) から任意のチャンネルを、新規ユーザー銀行の 24 チャンネルフェーダーに自由にアサインすることができます。

ユーザー銀行を構成する : 6.13.5 **USER BANK** (追加)

ユーザー銀行の設定スクリーン (UTILITY/USER BANK) には、1-24までのボタンが並んでいます。これらのボタンで、チャンネルをアサインするユーザー銀行のチャンネルを選択してください。選択ユーザー銀行チャンネルにアサインするチャンネルをリストをスクロールして探します。ユーザー銀行設定の変更は直ちに反映されます。この設定も TT コントロール、LCD 両方で行うことができます。

ユーザー銀行でのミキシング : 3.2.5 **USER BANK** (追加)

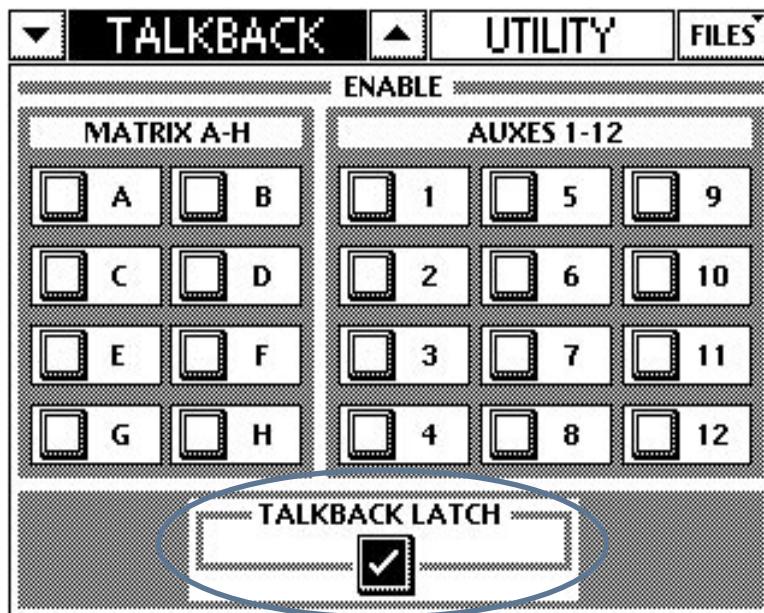
ミキシングにユーザー銀行を使用する場合には、ANLG と DGTL バンクセレクトボタンを同時に押してください。両ボタンが点灯してユーザー銀行であることが示されます。フェーダーはユーザー銀行の現在の設定を再現します。



7. TALKBACK LATCH

オーナーズマニュアルのセクション : 6.13.2 **TALKBACK** (変更)

機能の詳細 : 初期設定でトークバックボタンはラッチ式となっています。ミキサーのトークバックボタンを押すとインプットが接続されてボタンが点灯し、もう一度ボタンを押すと接続は切断されてボタンが消灯する仕組みです。このトークバックボタンを瞬間に機能する仕組み（ボタンを押しながら話し、話し終わったら手を放す方式）に切り替えることができます。これを設定するには、TT コントロールまたは LCD の UTILITY/TALKBACK スクリーンで TALKBACK LATCH ボタンを非選択にしてください。



8. 内蔵テストトーンとオシレーター

オーナーズマニュアルのセクション : 6.13.5 **TEST TONES** (追加)

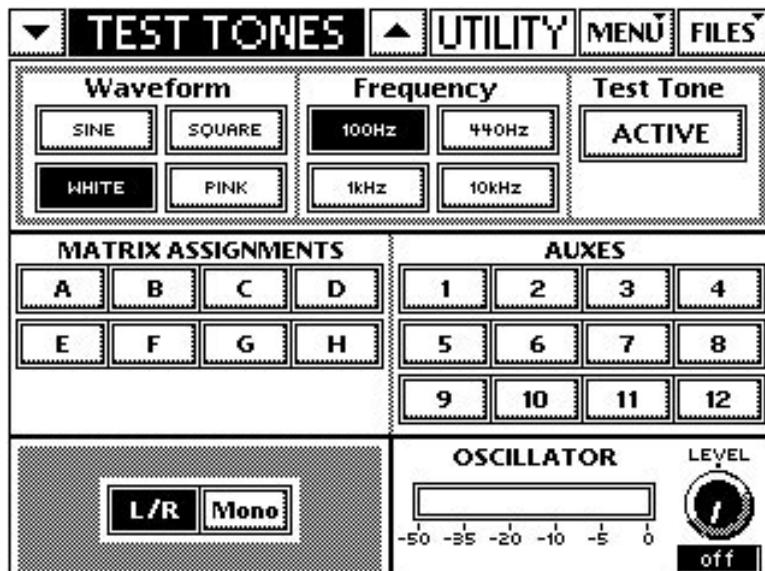
機能の詳細 : テストトーンとオシレーター機能が搭載されました。テスト用のシグナルを発振します。シグナルの選択肢は以下の通りです :

- ホワイトノイズ
- ピンクノイズ
- 100 Hz、440 Hz、1 kHz、10 kHz のサイン波またはスクエア波

テストトーンは以下の場所にルーティングすることができます :

- マトリクス A-H
- Aux 1-12
- L-R
- Ctr/Mono

この設定を行うには、TT コントロールまたは LCD の **UTILITY/TEST TONE** スクリーンを開いてください。テストトーンをアクティブにするためのボタン、レベルコントロール、そして便利なメーターが用意されています。



9. ミュートグループ

オーナーズマニュアルのセクション : 3.7.4 ミュートグループ (追加)

機能の詳細 : 8つのミュートグループが新たに追加されました。必要な場合、1つのボタン操作で素早くインプットチャンネルのグループをミュートすることができます。ANLG、DGTL、RTNS バンクから任意のチャンネルを選んで、1つのミュートグループを構成することができます。ミュートグループにアウトプットを加えることはできません。

ミュートグループにチャンネルをアサインしたり、ミュートグループをアクティブ/非アクティブにする操作には、ミキサーのコントロールサーフェスのグループアサインセクションを使用します。

任意のインプットチャンネルを1つのミュートグループにアサインする :

QuickMix セクションの CTRL ボタンを押したまま、GROUP ASSIGN 1-8 ボタンの1つを押してください。選択された GROUP ASSIGN ボタンが点灯し、グループ MUTE ボタンが点滅して、TT24 がミュートグループアサインモードとなったことを示します。この状態でミュートグループに含ませるインプットのチャンネルミュートボタンを押してください。このモードにいる限り、他の GROUP ASSIGN ボタンを押して他のミュートグループをアサインすることができます。点滅しているグループ MUTE ボタン、または点灯している GROUP ASSIGN ボタンを押すと、アサインモードは終了します。

ミュートグループをアクティブ/非アクティブにする :

GROUP ASSIGN ボタンを押しながら、グループ MUTE ボタンを押すと、ミュートグループをアクティブ/非アクティブすることができます。あるミュートグループがアクティブとなると、すべてのチャンネルのミュートボタンが点灯します。

ノート : TT24 のミュートグループは、アナログコンソールのミュートグループと異なる動作をします。あるミュートグループがアクティブな場合においても、チャンネルミュートボタンによってチャンネルを個別的にミュート解除することができます。グループや個々のチャンネルをより簡単にミュートできる仕組みになっています。

10. スナップショットコントロールの早送り

オーナーズマニュアルのセクション : 3.6 スナップショットの早送り (追加)

機能の詳細 : スナップショットの上または下向き矢印を押し続けると、まずは3つのナンバーを1つずつ進み、その後5つごとにナンバーが進みます。素早く目的のスナップショットに到達することが可能になりました。

11. 3基の31バンドグラフィックイコライザーを内蔵

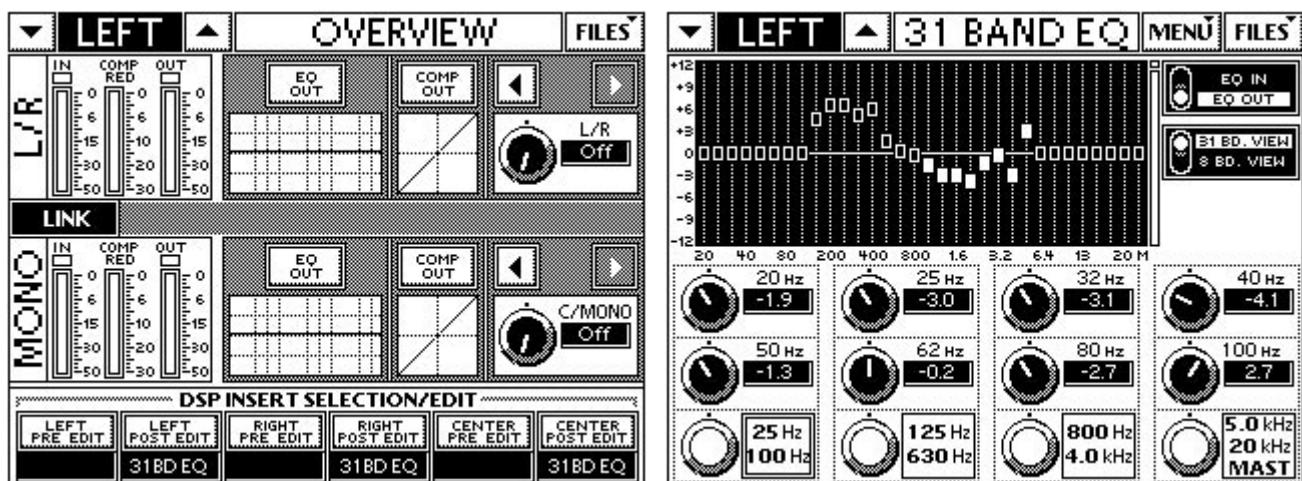
オーナーズマニュアルのセクション : 3.4.2 31 バンドグラフィックイコライザー (追加)

機能の詳細 : Left、Right、そして Ctr/Mono 出力に使用可能な 3 基の 31 バンドグラフィックイコライザーが内蔵されました。

各 31 バンドグラフィック EQ は、1/3 オクターブ、ISO センター、固定 Q のフィルターを 31 個備えています (レンジは「± 12 dB」)。EQ イン / アウトのスイッチでバイパス操作を行えば、EQ の有 / 無を素早く比較することができます。フィルターの 8 バンドを選択し、LCD の下側に詳細を表示させることができます。

LCD で 31 バンドグラフィック EQ にアクセスするには、メインフェーダーの SELECT ボタンを押してから QuickMix セクションの FAT ボタンを押してください。スクリーンの一番下、インサートポイント表示の中に 3 基の GEQ が示されます。インサートポイントの EDIT ボタンを押すと、31 バンド GEQ の編集画面が開かれます。EQ フィルターは QuickMix セクションの 12 個のプッシュ式ロータリーエンコーダーを使用してエディットします。一番下の列に並ぶ 4 つのノブのいずれかを押すことにより、編集する 8 つのフィルターをグループとして選択し、その上 2 列 (8 つ) のロータリーエンコーダーでブースト / カットのレベルを調整することができます。

TT コントロールアプリケーションでは、マウスを用いてフィルターをコントロールすることができます。

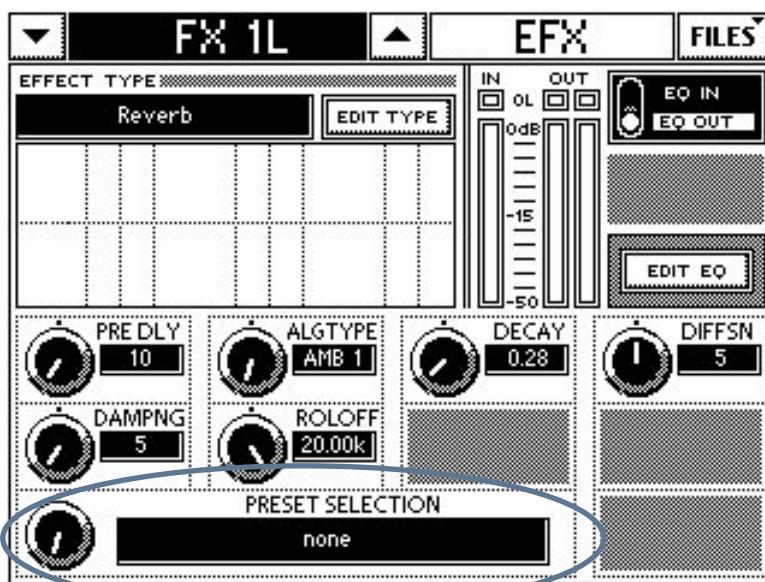


12. EFXプリセットダイアル

オーナーズマニュアルのセクション : 6.11 エフェクト (補足)

機能の詳細 : EFX の編集スクリーンに、EFX プリセットディスプレイとダイアルが追加されました。内蔵エフェクト (リバーブ、ゲートリバーブ、コーラスなど) の既存プリセットを素早くスクロールすることができます。

内蔵エフェクトの編集を行う場合には、QuickMix セクションの EFX ボタンを押してから、目的のエフェクトの Edit ボタンを押してください。開かれるスクリーンに追加されたプリセットディスプレイとダイアルを使用して、プリセットをスクロール / オーディションすることができます。



13. QuickMixセクションでのスナップショットのフィルタリングと編集

オーナーズマニュアルのセクション : 3.4.6 **SNAP** (補足)

機能の詳細 :すべての詳細なスナップショット編集 / フィルタリング設定が、QuickMix セクションから行えるようになりました。SNAP ボタンを押すと、LCD スクリーンにはスナップショットのロック、名称、フィルタリング機能の設定が表示されます。

SNAPSHOTS			FILES
No.	Title	Lock	
01.	Shows-1		
02.	<empty>		
03.	<empty>		
04.	<empty>		
05.	<empty>		
06.	<empty>		
07.	<empty>		
08.	<empty>		

FILTER EDIT ボタンを押すと、スナップショットのフィルタリングスクリーンが開かれます。スナップショットに含まれるミックスの要素（ミュート、フェーダー、パン、EQ、コンプレッサー、ゲート、Aux と「その他」）をフィルタリングすることができます（スナップショットごとの設定）。

SNAPSHOTS			FILES
PARAMETER FILTERING		CHANNEL FILTERING	
<input type="checkbox"/> FILTERING IN	<input type="checkbox"/> FILTERING OUT	INTERNAL 1	BANK 1 (ANLG)
<input checked="" type="checkbox"/> FADER		INTERNAL 2	BANK 3 (EFX)
<input type="checkbox"/> MUTE		INTERNAL 3	BANK 2 (DIGI)
<input type="checkbox"/> PAN		INTERNAL 4	BANK 4 (MAST)
<input type="checkbox"/> EQ			MATRIX A-H
<input type="checkbox"/> COMP			
<input type="checkbox"/> GATE			
<input type="checkbox"/> AUX			
<input type="checkbox"/> OTHERS			

このフィルタリングスクリーンで選択された要素は、スナップショットの呼び出しの際に変化することはありません。

また、上記フィルタリングスクリーンのチャンネルフィルタリングセクションでは、内蔵エフェクトや個別のインプット、アウトプットチャンネルをスナップショットの呼び出しから除外することもできます。

ノート：すべてのフィルター設定はスナップショットごとの設定です。

SNAPSHOTS				FILES
BANK 1 (ANALOG CHANNELS 1-24)				
1	9	<input checked="" type="checkbox"/>	17	
2	10	<input checked="" type="checkbox"/>	18	
3	11		19	
4	12		20	
5	13		21	
6	14		22	
7	15		23	
8	16		24	

14. スナップショットに記憶されるTT24のパラメータ

オーナーズマニュアルのセクション：3.6 スナップショット（補足）

機能の詳細：スナップショットに記憶されるパラメータは以下の通りです：

ANALOG と DIGITAL INPUT チャンネル 1-48

(DIGITAL バンクが UFXII の DSP を使用している場合)

- トリム
- フェーズ
- HPF
- EQ
- ゲート
- コンプレッサー
- DSP の順序
- ミュート
- フェーダー
- パン
- SELECT ボタン
- グループのアサイン
- Aux のプリまたはポスト
- Aux レベル

LINE INPUTS 1-8

- EQ
- ミュート
- フェーダー
- パン
- SELECT ボタン
- グループのアサイン
- Aux のプリまたはポスト
- Aux レベル

内蔵 FX リターン (ステレオ 1-4)

- FX のタイプ
- ミュート
- フェーダー
- パン
- SELECT ボタン
- グループのアサイン
- Aux のプリまたはポスト
- Aux レベル

拡張スロットのリターン 1-8

- ミュート
- フェーダー
- パン
- SELECT ボタン
- グループのアサイン
- Aux のプリまたはポスト
- Aux レベル

Aux マスター/アウトプット 1-12

- EQ
- キルフィルター
- コンプレッサー
- ミュート
- フェーダー
- SELECT ボタン

グループマスター 1-8

- グループモード
- DSP オンまたはオフ
- EQ
- コンプレッサー
- ミュート
- フェーダー
- パン
- メインのアサイン
- SELECT ボタン

メイン Left-Right と CTR/mono

- パラメトリック EQ
- キルフィルター
- コンプレッサー
- DSP の順序
- フェーダー
- SELECT ボタン
- 31 バンド GEQ

内蔵 FX プロセッサー 1-4

- FX のタイプ
- プリセットダイアル
- すべての現在の FX 設定

マトリクス A-H

- マトリクスオンまたはオフ
- ディレイ
- マトリクスインプット
- フェーダー
- SELECT ボタン

ステレオインプット

- ソースの選択
- Mono
- メイングループのアサイン
- フェーダー
- ミュート

トークバック

- トークバックのルーティング

内蔵 DSP (アナログまたはデジタル)

15. TTコントロールによるファイルのバックアップ/リストア機能

オーナーズマニュアルのセクション : 6.14 ファイルの管理 (補足)

機能の詳細 : TT24 における PC ベースのファイルのバックアップ / リストア機能は非常に拡張されたものとなっています。TT コントロールアプリケーションの右上隅に位置する Files ボタンをクリックすると、リストに次のようなオプションが示されます :

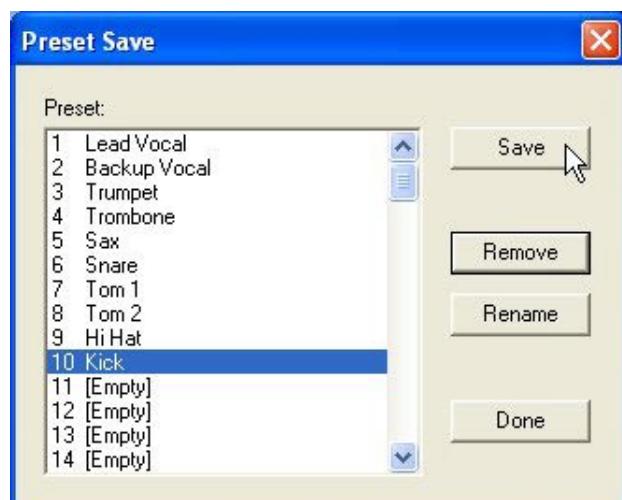
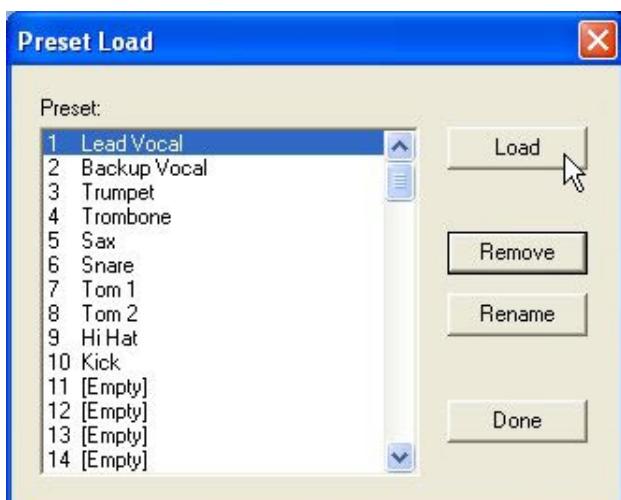


Load Preset

Save Preset

全チャンネルのプリセット、一部のチャンネルのプリセットを作成することができます。プリセットには EQ、コンプレッサー、ゲートの設定が含まれます。また、内蔵 EFX プロセッサーにもプリセットが用意されています。

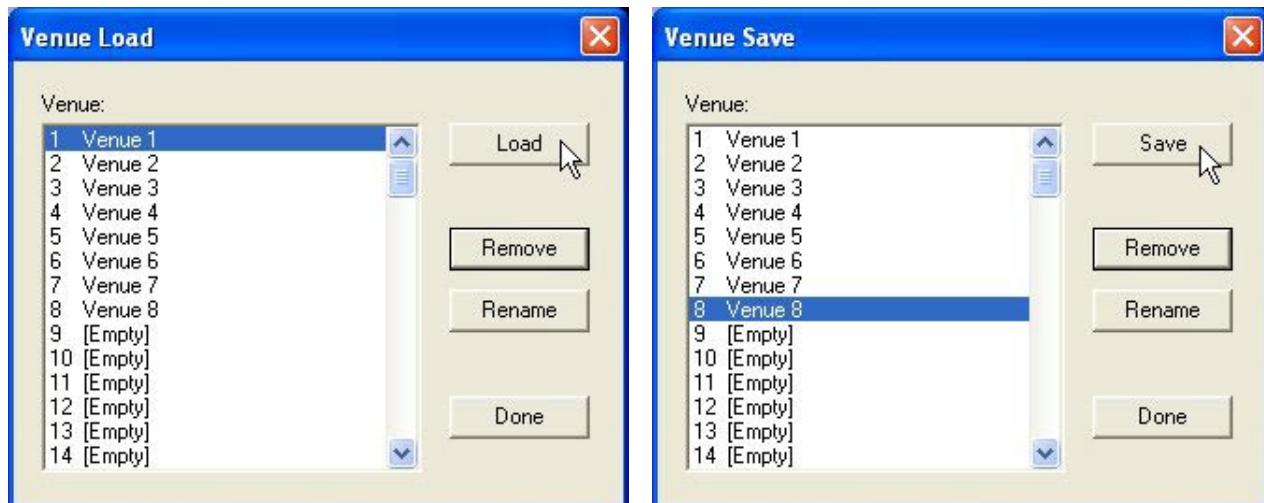
LCD または PC アプリケーションによるプリセットの保存 / 読み込みは、TT24 の内蔵メモリを使用して行われます。



Load Venue**Save Venue**

複数のヴェニュー（システムに関わるプリセット）を TT24 に保存することができます。後に、特定のシステム設定として呼び出すことができます。ヴェニューには TT24 のシステム構成に関わるすべてのパラメータが記憶されています。サンプリングレート、外部ワードロック、SELECT FOLLOWS SOLO の設定などが 1 つのヴェニューに保存されます（下記「ヴェニューに保存されるパラメータ」を参照）。

LCD または PC アプリケーションによるヴェニューの保存 / 読み込みは、TT24 の内蔵メモリを使用して行われます。

**ヴェニューに保存されるパラメータ****SETUP/OPERATION スクリーン**

- (オーナーズマニュアル 91 ページを参照)
- CENTER MODE

SETUP/GENERAL スクリーン

- (オーナーズマニュアル 91 ページを参照)
- PRE FADER AUX SENDS GLOBAL
 - PC AUTO FOLLOW
 - SELECT FOLLOWS SOLO
 - メートル法 / 米国単位
 - EXCLUSIVE SOLO
 - V-POT SPEED (追補 3 ページを参照)

SETUP/DIGITAL スクリーン

- (オーナーズマニュアル 92 ページを参照)
- Sample rate
 - Clock source
 - Digital input (S/PDIF または AES/EBU)
 - Sample Rate Convert

SETUP/MIDI スクリーン

- (追補マニュアル 6 ページを参照)
- チャンネルの選択
 - MIDI SEND
 - MIDI RECEIVE
 - FADERS
 - MUTES

UTILITY/USER BANK スクリーン

- (追補マニュアル 9 ページを参照)
- チャンネルアサインの選択

UTILITY/TEST TONES スクリーン

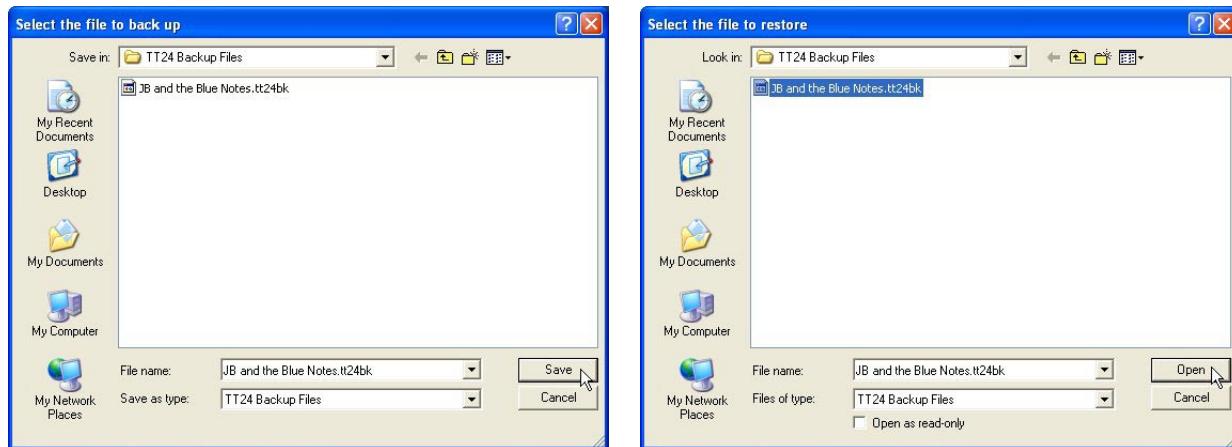
- (追補マニュアル 11 ページを参照)
- アウトプットアサイン
 - 出力レベル

UTILITY/TALKBACK スクリーン

- (追補マニュアル 10 ページを参照)
- TALKBACK LATCH

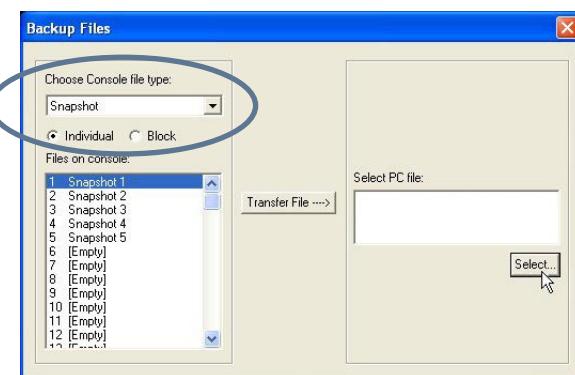
Backup Console**Restore Console**

TT24 内蔵メモリのバックアップリストアは、TT コントロールアプリケーションの **Backup Console**、**Restore Console** メニューによって行われます。バックアップ操作では、TT24 が記憶しているすべてのスナップショットとプリセットの情報を含むオフラインのファイルが作成されます。ファイルメニューから **Backup Console** を選択し、「*.tt24bk」ファイルの名称と保存ディレクトリを指定してください。

**Backup Files****Restore Files**

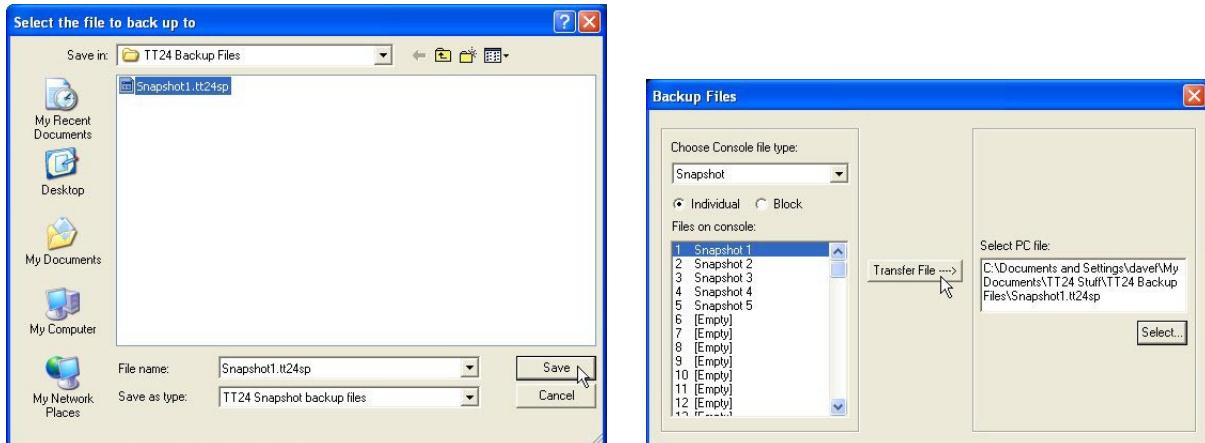
ファイルのバックアップ/リストアは、よりフレキシブルで洗練されたテクニックと言えるかもしれません。1つのファイルタイプをまとめて、またはその一部を PC にバックアップする方法です。このバックアップを行うには、TT コントロールアプリケーションの右上隅に位置する **Files** メニューから **Backup Files** オプションを選択してください。

1. ファイルの種類を選択してください（スナップショット、ヴェニュー、チャンネル、EQ、ゲート、コンプレッサー、または各エフェクトタイプ）。

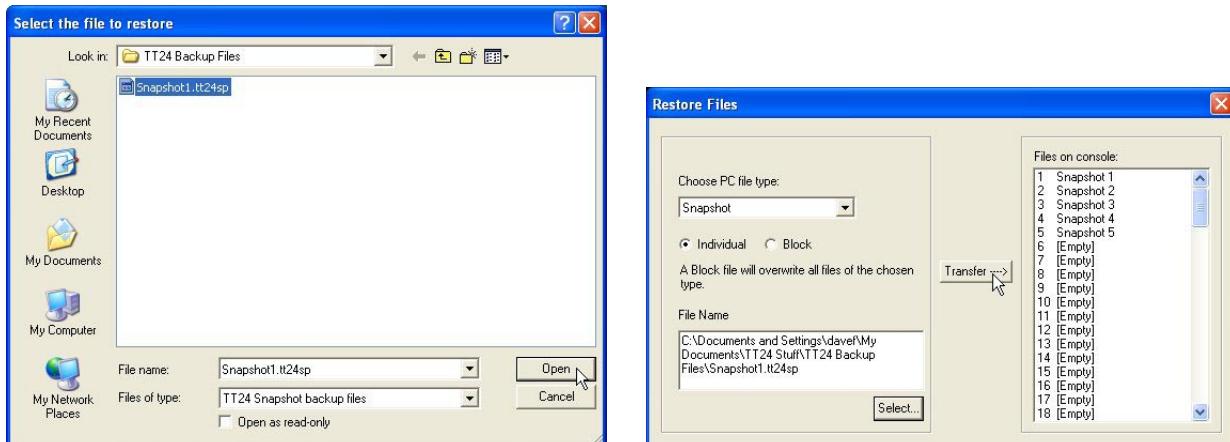


2. **Individual** または **Block** を選択します。 **Block** を選択すると、指定した種類のすべての（コンソールに存在する）ファイルを選択することになります。**Individual** を選択するとバックアップするファイルを個別に選択することができます。
3. バックアップするファイルを選択したら、ファイルの名称と保存先を指定します。 **Select PC file:** セクションの **Select...** ボタンをクリックしてください。

4. バックアップするファイルを選択し、名称と保存先の指定が済んだら、Transfer File ボタンをクリックしてください。サイズ情報と、ファイルの移動が正しく行われたことを示すメッセージが表示されます。

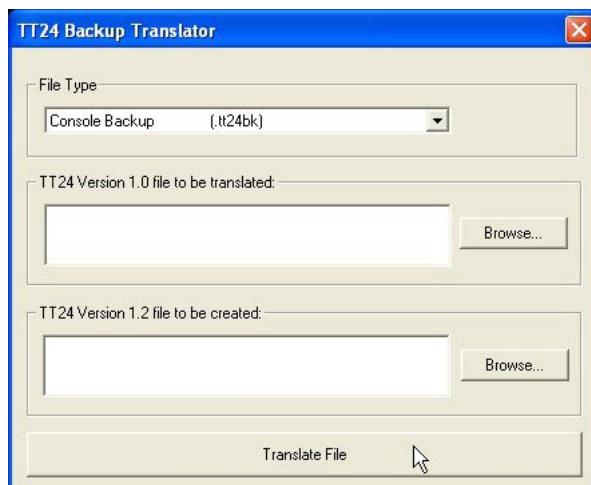


5. ファイルのリストアも、同様の操作画面で行います。



バージョン 1.0 のファイルを変換

バージョン 1.0 Backup Translator 機能により、前のバージョンの TT バックアップファイルをバージョン 1.2 ファームウェアに適合したファイルに変換（翻訳）することができます。変換を行うには、バージョン 1.0 のコンソールバックアップファイルを選択し、翻訳後のファイルの名称と PC でのディレクトリを指定する必要があります。翻訳後のファイルは、Restore Console 機能によって TT24 にリストアすることができます。



16. TT24コントロールサーフェスのショートカット

システム

ハードリセット = 電源投入時に **CTRL+HELP**

これら 2 つのボタンを同時に押しながら電源を投入するとハードリセットが行われます。TT24 は工場出荷時の状態に戻されて内蔵メモリはすべてクリアされます。すべてのスナップショット、プリセット、ヴェニューは削除されます。

ソフトリセット = 電源投入時に **CTRL+UTIL**

これら 2 つのボタンを同時に押しながら電源を投入するとソフトリセットが行われます。TT24 は工場出荷時の状態に戻されますが、内蔵メモリがすべてクリアされるのではありません。すべてのスナップショット、プリセット、ヴェニューはそのまま保持されます。

LCD の手動キャリブレーション = **CTRL+SETUP**

これら 2 つのボタンを同時に押すと（すでに起動した TT24 で）、LCD キャリブレーションスクリーンが開かれます。タッチスクリーンでボタンをタッチしても期待される動作が起こらない場合、キャリブレーションスクリーンでキャリブレーションの調整を行ってください。

リセット操作

チャンネルのリセット = **CTRL+FAT**

これら 2 つのボタンを同時に押すと、選択されているチャンネルが初期設定にリセットされます。

EQ のリセット = **CTRL+EQ**

これら 2 つのボタンを同時に押すと、選択されているチャンネルの EQ が初期設定にリセットされます。

ダイナミクスのリセット = **CTRL+DYN**

これら 2 つのボタンを同時に押すと、選択されているチャンネルのコンプレッサー / ゲートが初期設定にリセットされます。

グループと Aux のリセット = **CTRL+GRP/AUX**

これら 2 つのボタンを同時に押すと、選択されているチャンネルのグループへのアサインと Aux センドレベルはオフに設定されます。

全チャンネルの Aux をリセット = **CTRL+AUX 1-12**

CTRL ボタンを押しながら Aux ナンバーボタン（1-12）のどれかを押すと、全チャンネルの Aux センドがオフとなります。Aux ミックスのクリアにとても便利なショートカットです。

TTコントロール特殊スクリーン

マトリクスのオーバービュー = CTRL + MTRX

これら 2 つのボタンを同時に押すと、TT コントロールアプリケーションはマトリクスの概観を示すスクリーンを表示します。

バンクメーター = CTRL + METERS

これら 2 つのボタンを同時に押すと、TT コントロールアプリケーションは現在選択されているバンクの高解像度メーターをスクリーンに表示します。

96 × フェーダー = CTRL+ バンクボタン (ANLG、DGTL、RTNS、MSTR のいずれか)

これら 2 つのボタンを同時に押すと、TT コントロールアプリケーションは 96 本のフェーダーをスクリーンに表示します。ミキサーの全チャンネルがスクリーンに表示されます。

その他

V-Pot の LED でゲインリダクションを表示 (グローバル設定)

METERS ボタンを 2 秒以上押し続けると、すべての V-Pot はゲインリダクションモードに切り替わります。このモードでは、LED はゲインリダクションのレベルを表示し、ノブでスレッショルドを調整することができます。また、このモードは各チャンネルごとに設定することも可能です。その場合には、V-Pot をメーター モードに設定し、エンコーダーを押してください。V-Pot の一番下の LED (ボトム LED) が赤く点灯し、ゲインリダクションモードであることが示されます。



MACKIE®

16220 Wood-Ridge Road NE • Woodinville, WA 98072 • USA
www.mackie.com • sales@mackie.com

ラウドテクノロジーズ日本支社

〒162-0833

東京都新宿区篠町 44 番地 OH 神楽坂ビル 5F

TEL.03-5225-6253 FAX.03-5225-6273

<http://www.mackie.com/jp>

E-mail : Support.Japan@mackie.com

United States and Canada: 800.898.3211
Fax: 425.487.4337

Europe, Asia, Central and South America: 425.487.4333
Middle East and Africa: 31.20.654.4000